

## 米国 悪天候とエネルギー価格の上昇で伸び率抑制 (2007年2月小売売上高)

発表日：2007年3月13日(火)

～ただし昨年12月の高い水準を概ね維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [sei-ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:sei-ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

### 小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
			除く車		自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン
06/04	+0.7	(+7.0)	+0.7	▲0.3	+0.4	+0.6	+0.3	+1.4	+0.5	+5.7
06/05	+0.2	(+7.6)	+0.8	▲1.2	▲2.1	+0.5	+0.8	+1.1	+0.7	+2.0
06/06	▲0.5	(+5.3)	▲0.0	▲1.8	▲2.4	+0.9	▲0.5	+0.2	+0.5	+0.1
06/07	+1.4	(+4.8)	+0.7	+2.7	+4.1	▲0.1	+0.7	+0.7	+1.2	+1.5
06/08	+0.0	(+6.3)	+0.1	▲0.2	▲0.3	+0.8	+0.0	▲0.1	▲0.2	▲1.2
06/09	▲0.6	(+5.5)	▲1.0	+0.2	+0.9	+0.3	+0.5	▲1.4	+2.9	▲9.8
06/10	▲0.2	(+4.7)	▲0.5	+0.2	+0.8	▲0.7	▲0.1	▲0.6	▲1.7	▲4.5
06/11	+0.4	(+4.5)	+0.6	+0.3	▲0.3	▲0.7	+4.9	+0.6	▲0.6	+2.4
06/12	+1.2	(+5.7)	+1.1	+0.9	+1.2	+0.4	+1.4	+1.0	+1.1	+4.1
07/01	▲0.0	(+2.2)	+0.2	▲0.5	▲0.9	+3.3	▲2.6	+0.5	+2.5	▲0.5
07/02	+0.1	(+3.2)	▲0.1	+0.1	+0.9	▲1.7	▲0.3	+0.3	▲1.8	+1.2

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、( ) 内は前年同月比 (未季調)。

\*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上の合計。

\*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

### 自動車を除く小売 売上高は前月比+ 0.1%と市場予想を 下回った

2007年2月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.1%と前月の同+0.0%から加速したものの、市場予想の同+0.3%を下回った。

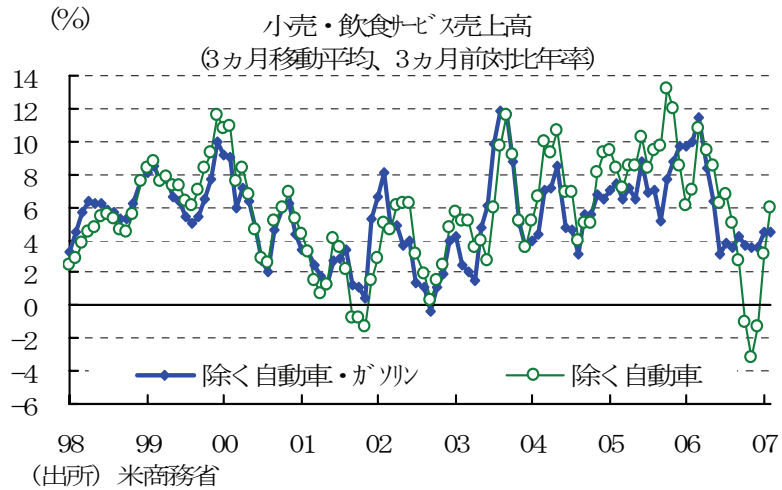
項目別にみると、耐久財では家具が1月の急増の反動もあり減少した。一方、家電はマイナス幅を縮小した。さらに、販売台数では小幅減少した自動車が金額ベースでは増加に転じ、耐久財は増加した。また、非耐久財では悪天候により建設資材が大幅なマイナスとなり、衣料品販売が前月に気温の低下によって冬物の売上が増加した反動でマイナスとなった。悪天候により飲食店売上の減少が続いた。一方、ガソリン価格の上昇に伴いガソリンスタンド売上が増加し、通信販売が加速したため非耐久財全体ではプラスを維持した。

変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高も、建設資材、衣料品、飲食店の減少によって前月比▲0.1% (前月同+0.1%) と市場予想の+0.3%に反しマイナスとなった (12、1月合計で0.3%ポイント下方改定)。

全体からガソリンを除いた小売・飲食サービス売上高は前月比+0.0% (同+0.0%) と2ヵ月連続で横ばいとなり、昨年12月に同+0.9%に上ぶれた水準を概ね維持している。以上のように、2月の小売売上高は、悪天候やエネルギー価格の上昇等による押し下げ要因のなかで、雇用・所得の拡大、株高によって高い伸びとなった昨年12月の水準を維持している。

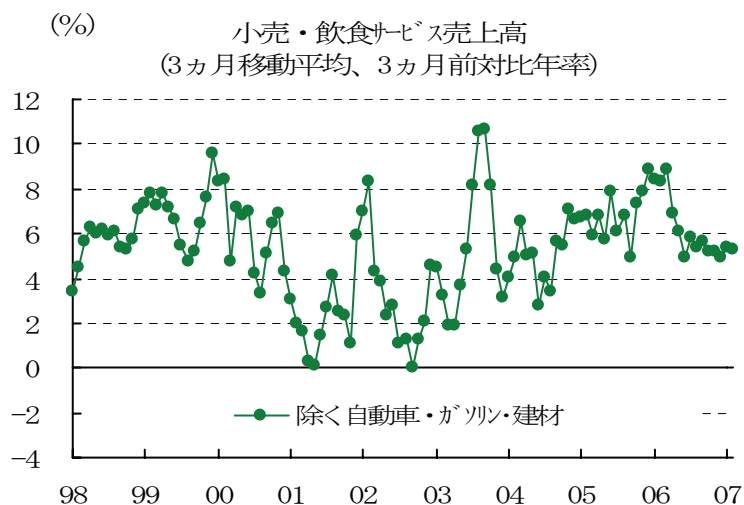
**小売売上高は堅調さを維持**

3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は+6.0%（前月+3.7%）とプラス幅を拡大した。ガソリン販売が12月2月と増加した影響もありモメンタムが加速した。このようなガソリン価格変動の影響を除くために自動車・ガソリン販売を除く小売・飲食サービス売上高をみると、2月に+4.5%（同+4.5%）と高い伸びとなっており、消費は堅調さを維持していると判断される。

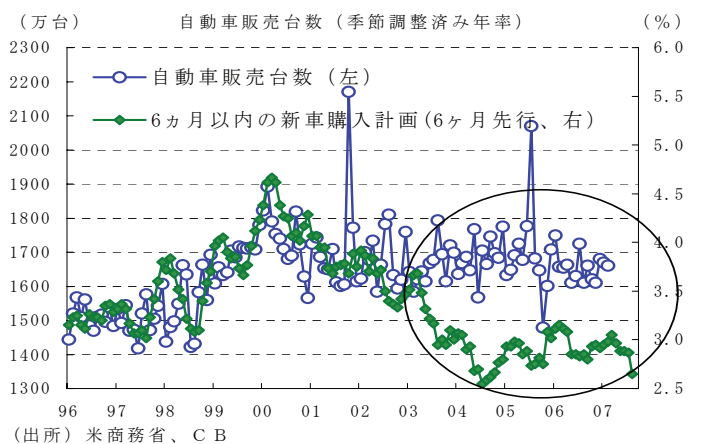
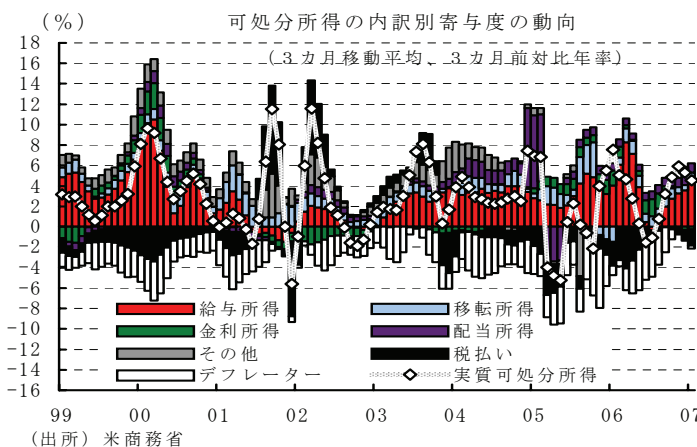
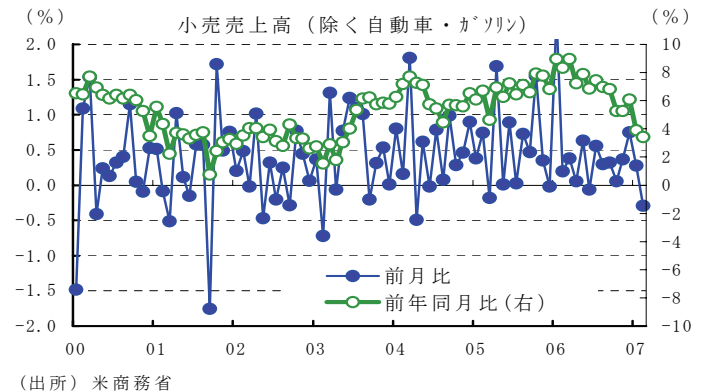
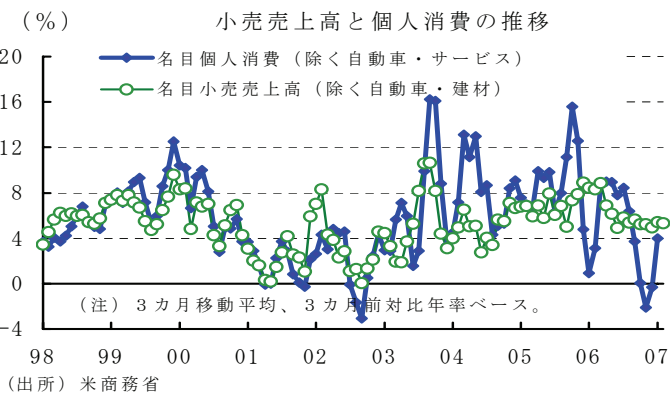
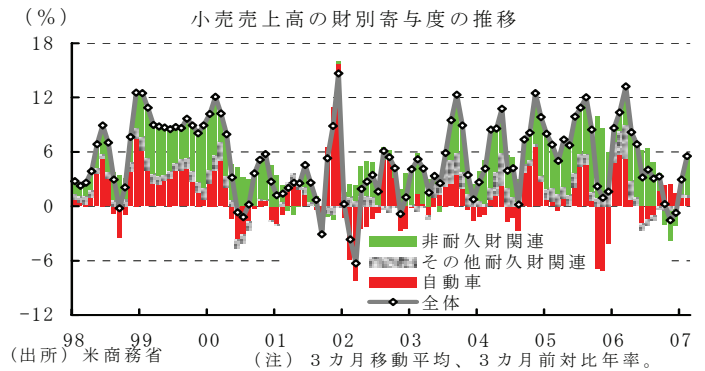
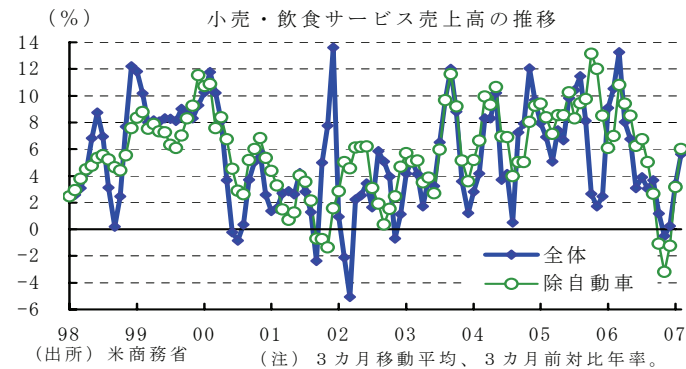
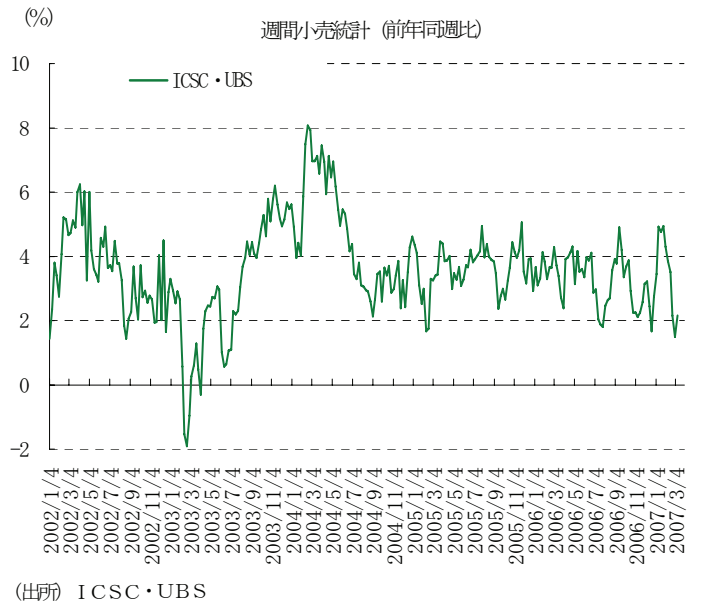
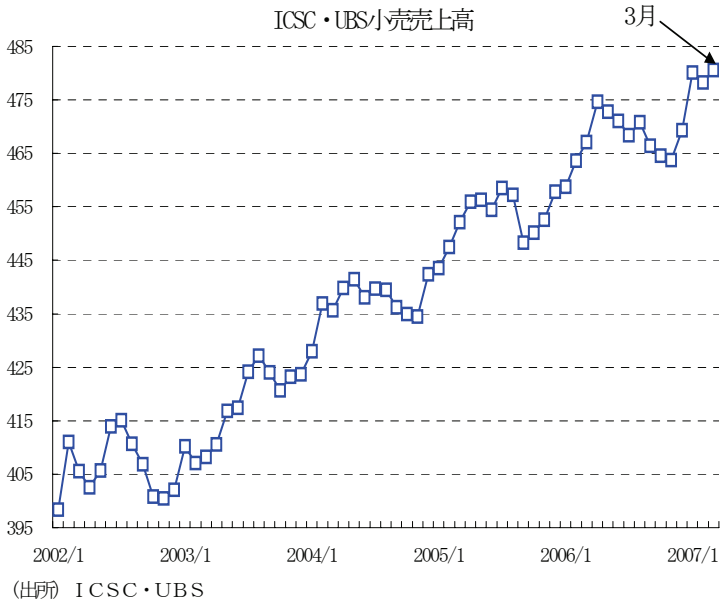


**小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+5.3%（前月+5.4%）と高い伸び**

GDPベースの個人消費算出に使われる小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、2月に前月比▲0.2%（前月同+0.3%）と悪天候、エネルギー価格の上昇等によって2005年5月以来初めてのマイナスに転じた。しかし、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+5.3%（前月+5.4%）と高い伸びを維持している。さらに、3月第1週のチェーンストア小売売上高が前月比+0.7%、前年比+2.9%と堅調さを維持している。これらのことから、2007年1～3月期の実質個人消費は前期比年率+3%台前半（2006年10～12月期同+4.2%）の伸びが予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であると限りません。